



2023-2024  
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう

Rotary  
ゴードン R. マッキナリー



金泉寺

ロータリアン スピリッツ  
『Rotarian spirits』  
～輝ける新時代へ～

2023-2024年度 諫早西ロータリークラブ 会長 山本 健志

諫早西RC  
ホームページ



Facebook



諫早西RC  
掲示板



第1804例会 2023年 11月 29日例会記録 NO.18 天候 晴れ

【本日】会員数 52名 出席 41名 欠席11名 出席扱い(急病) 0名 免除 0名 出席率 78.85%  
【11/8】会員数 52名 出席 46名 欠席 6名 (MU13名) 免除 0名 出席率 88.47%

## 来訪者



ゲスト

卓話者 第2740地区 職業奉仕委員長  
諫早北ロータリークラブ  
矢野 京子 様

## 会長の時間



山本 健志 会長

## 『先週の出来事』

本日は、諫早北RCより矢野京子様にお越しいただきまして、ありがとうございます。職業奉仕についての卓話だという事で、しっかりと勉強させていただきます。よろしくお願ひします。さて、今日の会長の時間は、先週の例会は休会でしたがロータリーに関わる事がありましたので、その出来事をお話しさせていただきます。

まず1つは、11月21日(火)19時より長崎バスターミナルホテルの2階会議室にて、長崎北ローターアクトの公式訪問に野中会員、原田会員と私の3人で参加して来ました。RAC会員数8名中7名。オブザーバー5名。提唱RCクラブ9名。出席合計21名でした。今回、参加した理由をいいますと、私たちがお世話をしている鎮西学院大学のRACは大学生の集まりのRACで、長崎北RACは社会人のRACということで、その違いを知りたい為に参加してきました。RACの事をまだよく知らないで、すごく勉強になりました。注目すべき点、①社会人と学生の違い。②1クラブの提唱RCクラブと5クラブでの提唱RCクラブの違い。③RACの会員数の違い。④奉仕活動や例会の運営の違い。様々な違いがあるRAC。長崎北RC会員からもRACの情報収集ができ、RACの在り方を考える良い日でした。27日(月)18時30分 諫早サンプリエールにて、鎮西学院大学ジャズアンサンブルローターアクト役員、委員長8名と当クラブより5名の合計13名で初の懇談会を開催しました。肩を張らず、気軽に話せる

会長/山本 健志 幹事/清水 淳 創立日/昭和60年2月20日 認証日/昭和60年3月5日  
例会場/平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL(0957)24-3907  
事務局/諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL(0957)22-3323  
会報委員/久保 泰正・木村 真一・サルヴァドーライ美奈子・植杉 親優  
HP/<https://isahaya-west.com> E-mail/[info@isahaya-west.com](mailto:info@isahaya-west.com)

機会をつくりたく、この会を開催しました。その懇親会を行ったおかげで、学生たちのRACの思いや私たちの思いをお互いに分かり合える交流が出来ました。翌日、学生たちRACよりチャリティーボウリングを私たちクラブと一緒にしましょうとお誘いを受けました。やっと楽しく活動することに気づいてくれたのかなと、すごく嬉しく感じました。あと半年のお世話になりますが、彼ら彼女らが生き生きと元気に、そして楽しくRAC活動を頑張ってくれるような、そんなサポートを今後していきたいと思えます。

会員の皆様のご協力をお願いいたします。

## 幹事報告

### 【例会変更】

※諫早多良見ロータリークラブより

①日時：令和5年12月19日(火) 12:30～

場所：ホテルグランドパレス諫早 ⇒ 高城神社

※第2回100万\$食事例会(清掃活動)のため

②日時：令和5年12月26日(火)

⇒ 23日(土) 19:00～

場所：ホテルグランドパレス諫早

※クリスマス例会(家族同伴)のため

### 【例会休会】

※諫早多良見ロータリークラブより

日時：令和6年1月2日(火)

※定款第7条第1節(d)により

### 【お知らせ】

※ガバナーエレクト事務所より

①「2024-2025年度地区委員長推薦協力の御礼」

②「次年度地区委員長就任の御礼」(久保会員増強委員長宛)

※ガバナー事務所より

①「2022-23年度RYLA報告書送付」

②「ポリオデーフォトコンテストの報告」

2740地区RI理事賞：大村RC

※国際ロータリー日本事務局より

「ローターアクトクラブ役員報告、入退会報告について」

※いさはやおもてなし発信実行委員会より

「いさはやクリスマスマーケットへの協賛金のお願いについて」

協賛金額：1口 5,000円～ 何口でも可

募集期間：11月23日(木)～12月13日(水)

※諫早商工会議所より

「新年祝賀会のご案内」

日時：令和6年1月5日(金) 18:00～19:20

場所：ホテルグランドパレス諫早

会費：5,000円 ※立食形式

## 委員会報告



社会奉仕委員会 友永 俊介 委員長  
『長崎ひまわりプロジェクトについて』



出席委員会 平野 義信 委員長  
『出席の件』

## 😊 スマイルボックス 😊

矢野 京子様 (諫早北ロータリークラブ) :

本日は宜しくお願ひ致します。

山本 健志君 : 本日は、諫早北ロータリークラブ矢野京子様、ようこそ諫早西ロータリークラブへ。今日は卓話楽しみです。宜しくお願ひします。

清水 淳君 : 矢野様ようこそ諫早西ロータリークラブへ。本日の卓話宜しくお願ひします。

吉次 良治君 : 矢野様、ようこそおいで下さいました。先日は、孫の七五三の着付けありがとうございました。

千住 良治君 : 諫早北ロータリークラブ矢野様、本日は宜しくお願ひ致します。

永井 栄次君 : 今年もあとわずかですね。体に気をつけて頑張りましょう。

御厨 善光君：第 2740 地区職業奉仕委員会矢野委員長様、本日はお忙しい中、卓話の時間をつくって頂き、誠にありがとうございます。

日高 正朗君：矢野様、このせわしい月末にようこそ!!

濱下 伸人君：3 店舗目の時津店の OPEN 日が決まりました。3月18日グランドオープンです。頑張っていきます。

中島恵美子君：皆さんへ、メモの用意は出来てますか？  
12月3日今度の日曜日、7時からのナニコレ珍百景を見てください。そして皆さんで来て下さい。お待ちしております。

本日の合計 (11/29)	累計額
¥24,000	¥585,000

## 卓 話

第 2740 地区職業奉仕委員会 矢野 京子 委員長 様 (諫早北ロータリークラブ)



矢野 京子 様



2023.11 月号 ガバナー月信より『Governor's Message』

### 8つの重点項目について

2023-2024 年度 第 2740 地区ガバナー 緒方 信行

私は 2023-24 年度の地区運営方針を「継続と革新の理想的なバランス」としました。継続すると同時に変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。

そのために8つの重点項目を設定し、7月号から説明させて頂いてきましたが、今回で最後、「ロータリーファミリーの設立」と「IM の開催」について説明をいたします。

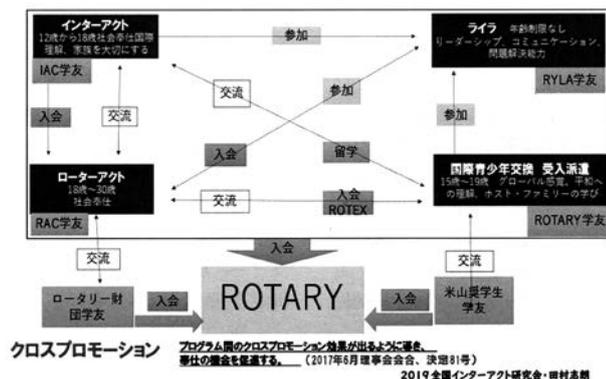


#### 5. 「ロータリーファミリーの設立」

「ロータリーファミリー」について、2018 年、福岡で開催された全国インターアクトクラブの大会で、福岡東 RC の田村志朗さんがプレゼンされた資料を用いて説明します。

下のクロスプロモーション図を参照してください。ロータリーファミリーとは、インターアクト、ローターアクト、ライラ、米山記念奨学生、青少年交換及び学友会など、ロータリーのすべての若者の育成事業に関わる青少年を含む人々を指します。そして、ロータリーとしては、それぞれの事業が互いに交流し、関係することで、より事業の成果が高まるよう（クロスプロモーション効果）に支援を行います。今まではインターアクトはインターアクト、ローターアクトはローターアクトでそれぞれ別々に活動をしており、それぞれの年次大会を開催しており、また、全国大会にも出席しています。また、地区大会の際には、全員集合することが慣例になっております。

しかし、ロータリーで大切なのは「奉仕の理想」の哲学を継承、実践することではないでしょうか？「奉仕の理想」、すなわち「他人のことを思い、他人に尽くす」の意味をしっかりと理解し、社会の役に立てれば、ロータリーの大切な使命の一つである「人を育てる」ことが実現できます。



米山記念奨学生のお別れスピーチで、ある奨学生が、「私はカウンセラーのロータリアンから学んだ、“人の為に尽くす”という言葉で、社会に出たら実践したい。そして日本と世界の懸け橋になりたいと思います。」とおっしゃいました。私は「ここにロータリー有り！」と感動を覚えました。そしてその精神を社会に、いや世界に広げる必要があると感じました。そのためには、インターアクトで学んだ奉仕の理想の精神を、ローターアクトへ、そしてロータリアンへと繋いでいく必要があると思います。

しかし、時代とともに、世界の変化の中で、ロータリアンも青少年との交流において難しい局面に直面しています。今後、どのように青少年と交流していくべきか、考えていく必要があると思います。

## 6. 「IMの開催」

本年度の8つの重点項目の一つがIM（インターシティミーティング）です。ガバナー補佐の皆さんは公式訪問前のクラブ協議会と公式訪問で一仕事終えて、やれやれというところだと思いますが、地区大会が終わると、次は各グループの大切な行事として、担当グループでのIMの準備にかかることになります。

IMとは何でしょう？ロータリーではIMとはフォーラム（公開討論会）形式の会議を言います。したがって、主催者が考えなければならない要点は、共通の興味を持つことや一つの問題点について事前にテーマを選ぶことが最も重要です。そして会議の最後には、総括者がフォーラムのまとめとしての結論を出さなくてはなりません。主催者（地区学習ファシリテーター、ガバナー補佐や担当クラブ）は会議のテーマや講演者を安易に選んだりしてはならず、演題を講演者任せにしてはいけません。もう一つ、ロータリーでは自己研鑽の場であるIMにはグループ全会員の出席が要請されています。自己研鑽の場としてクラブ例会、クラブ協議会、地区協議会、地区大会などの場合があるように、できるだけ全員登録、全員出席して頂きたいと思います。

IMのテーマについては、以下のテーマから検討したらいかがでしょう。一つは、①「会員増強とクラブの在り方」です。人口減少傾向にある日本では会員増強は困難であり、むしろ退会防止策に注力する必要があることがはっきりしてきました。そして、退会防止には新入会員の研修に力を入れることが必要であるということが多くのクラブで指摘されています。本年度の目玉プロジェクト「衛星クラブ」は、会員の教育、クラブの在り方について、多くの示唆を与えるものとなりました。日中、出席が困難な会員がいるクラブでは、衛星クラブが夜、例会を開催しているように、通常の例会のあり方も変えてみたらどうでしょう。クラブ細則を変更することで、それが可能になります。また、会員数の減少による会員数の少ないクラブでは、財政面で、通常活動、奉仕活動さえ困難になりつつあるのが現状です。全国的に見ると、クラブの廃止やクラブ同士の統合が起きつつあります。当地区でもクラブ同士で統合について考える時期に来たと思います。

もう一つは、②「地区委員会の在り方」です。地区委員会はガバナーから年度地区目標を掲げられても具体的にその担当年度で何をすればいいのかわかりわからないまま、地区委員長が地区委員と共に地区セミナーを開いていたのが実情です。ガバナーの意思と齟齬が生じることさえありました。さらには地区委員会内で問題が生じても委員会内部ですべて処理されてきました。各種セミナー、地区事業を開催することに、ガバナー、地区学習ファシリテーター、地区委員会との間で、もっと真剣な打ち合わせを行う必要性が求められています。

委員会の中には堪能な英語力、交渉力、経験が必要であり、毎年、簡単に委員を交代する訳にはいかない委員会があり、それが故に、この様な委員会については、次年度ガバナーが次年度地区委員長、委員を指名することが困難な状況に陥ることがしばしば見受けられます。地区委員会の在り方について会員で話し合ってください。

もう一つ、今回の公式訪問で気付いた大切なことがあります。それは、③「ロータリーとは何か？」ということを知りたいがっているということです。入会年数が浅い会員程、目を輝かせて、ロータリーについての話を聞いています。ロータリーが始まって118年、このテーマはその間、ずっと考えられ、論じられてきたテーマです。時には原点回帰して、「ロータリーとは何か？」について考えてみる必要があります。

最後に、地区には多くの問題が存在しています。全会員が問題を共有し、それをテーマにして全員で考え、前向きな結論を出して頂き、地区の改革が実現出来るならば、第2740地区は素晴らしい地区となるでしょう。意義のあるIMとなることを期待しています。